

3月16日神戸新聞には北播版と運動面に本校の記事が掲載。北播版は加東みらいこども園の園児達の横断幕と応援体制が、運動面は連載で本校野球部の取組が掲載されました。いよいよ本番も近づいてきて、緊張感が高まってきました。また応援団も人文字が以前より鮮明になりました。

「GO!」「社」「110」「YH マーク」です。今年創立110周年を迎えるので、110を加えました。本番に向けてみんなで頑張っています。支援の輪も広がりを見せ、多くの方々からお声かけ

をいただいたり、寄付をいただいたりしています。選手の方も順調に調整は進んでいるようですので、本番が楽しみになってきました。さらに新聞折り込みチラシには、加東市観光協会にご協力

いただくチケットの配布方法や市民の皆様への応援バスについてのお知らせを入れていただきました。18日の天候次第(現在雨天予報)では日程も変わるため、高野連からの連絡を待たなければならぬので、慌ただしい週末になりそうですが、こういった時間を楽しみながら全校あげての応援をし、地域の活性化につなげていけたらと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

また、3月15日神戸新聞ひょうご総合版には、私が長田高校勤務の時に指導した中野さんの記事が掲載。彼女は本校にも5年ほど前、講演に来たことがあります。現在も現役で競技をし、結婚と同時に「Jump Festival(ジャンプフェスティバル)」という法人を立ち上げ、

広くスポーツの普及活動に努めています。海外での指導を求めてドイツに行ったり、スポンサーを探したりと、自身のキャリアと苦勞してきたことを活かし、スポーツ選手としてできる事を探る中で行動を起こしたようです。その発想と行動力には感心させられるばかりですが、スポーツを通していろいろな関わり方ができると言うことを私自身も改めて感じ、応援したいと思っています。

1年生総合的な探究の時間学年発表会では、普通科の各班で探究した内容を発表し、評価をしました。1年生では加東市の魅力発信と課題解決について自分たちで

テーマを決め、調べて提案するものです。小学校が統合され廃校となった跡地の利用、播磨中央公園の利用方法やフードロスからのSDG'sの内容を含んだ提案、ゆるキャラの設定など高校生ならではの発想が多くあり、探究学習によって地域理解と活性化が進むことは間違いないと思えました。その内容を深めていくにはどうすれば良いか、どこに協力してもらえば良いかなど、今の社会課題を解決する糸口になるものだとも思いました。こういった研究をきっかけに地域に関する関心を深めたり、解決方法を見いだすことで社会の仕組みを理解したりすることができると思います。生徒の皆さんは休みの日に施設に出かけて写真を撮ったり、先生方はその進捗状況を確認したりと忙しい中でクリアしていかなければならないことは多々出てきますが、時間をかけた自分らの成長に繋がりますので、これからも頑張りたいと思います。

3月17日は高校入試の合格者発表です。新しい季節が始まっていきます。在校生も新入生を迎える準備をしながら、自らの令和5年度の目標を立て、その達成に向けてスタートを切ってください。よろしくおねがいします。

